

審査結果報告書

平成 29 年 1 月 31 日

主 査 氏 名

馬場 正隆



副 査 氏 名

石村 正嗣



副 査 氏 名

天羽 康之



副 査 氏 名

岡本 浩嗣



1. 申請者氏名 : DM13039 吉竹 俊裕

2. 論文テーマ :

日本人の男性型脱毛症に対するフィナステリド長期投与の 801 例調査

3. 論文審査結果 :

本邦における男性型脱毛症(AGA) の治療は、2005 年に経口フィナステリドが登場して大きく変化した。フィナステリドは 2 型 5- α 還元酵素を阻害することにより男性ホルモンテストステロンが DHT に転換されるのを阻害し、脱毛抑制効果が認められるといわれている。申請者は、AGA と診断された 801 例を対象に、Modified Norwood-Hamilton 分類に従って評価した患者重症度、治療開始期間、発症年齢、罹患期間、治療開始時のストレスなどに注目し、フィナステリド治療に伴う変動を 5 年間にわたって解析した。

フィナステリド有効性解析集団全体で、フィナステリド投与前に比較して症状の進行に有意な抑制が認められた。治療開始後早期の段階での有効性が高かった。あわせて非有効群となる予測因子も解析した。有害事象の出現は、全解析期間を通じ 2.5%程度であった。

申請者は、約 20 分にわたり自己の成果を発表し、副査及び主査からの質問に的確に返答した。主な質問は、用いた研究デザインの特徴とその限界、類似薬物との差異、有害事象やリバウンドの有無、脱毛抑制の作用機序などであるが、それらの質問に対し的確に答えることができた。医学博士に値する学力も十分にあることから、合格と判定した。